

令和7年度第2回自治体等FM連絡会議大阪府地域会の開催報告について

大阪府地域会代表幹事(貝塚市総合政策部公共施設マネジメント室長)七野 司

去る令和8年2月5日、令和7年度第2回自治体等FM連絡会議大阪府地域会を開催し、近隣市と地域会会員から44名のご参加をいただきました。

今回は茨木市から2名の講師をお迎えし、「茨木市市民会館跡地エリア活用(文化・子育て複合施設おにクル)について」と題して、茨木市企画財政部政策企画課参事の梶日出男様と、茨木市市民文化部共創推進課課長代理の山脇知郎様から、それぞれご講演いただきました。



梶様からは、公共施設における統廃合という公共FMの視点からご紹介いただきました。

おにクル整備に併せて、ホールや図書館等の機能の集約、待機児童保育室や教育委員会の機能の移転、不要となった施設の廃止を丁寧に進められたプロセスを、その際の苦労話とともにお話いただきました。

山脇様からは、おにクルの整備プロセスにおける様々なステークホルダーとの合意形成の視点からご紹介いただきました。

市民ニーズ把握のための市民会館100人会議、市民が実際にやってみる社会実験IBALAB、おにクルの運営手法や市民が主体となる特徴的な取組み等をお話いただきました。



後半は、茨木市の職員の皆さまにご案内いただき、おにクルの現場見学をさせていただきました。図書館などの共用部分に加えて、ホールや通常では入れない楽屋等のバックヤードも拝見させていただきました。

市民の皆さまが、主体的に活動している様子やゆっくりと読書している様子を拝見でき、改めて市民の皆さまと創りあげられた空間であると感動いたしました。



見学後は講演会場に戻り、全体を通しての質疑応答を行いました。たくさんのご質問等をいただき、時間内に収まらなかったご質問は、後日茨木市のご担当者様にご回答をいただくほどの盛況になりました。



アンケート結果によると、「住民との対話を続けられたことに敬意です」、「複合化に至る過程や、市民の方と協働での事業の進め方など参考になりました」、「今後の公共施設の在り方という面でも、実際の運用面でも非常に参考になった」というご意見などをいただきました。また、今後、取り上げてほしいテーマ等については、「学校施設の跡地活用や道の駅整備に対する PPP/PFI の導入可能性」、「保全点検について、ファシリティマネジメントの観点」等のご意見をいただいております。今後も、様々なテーマに関して会員の皆様と共に考えていける地域会の開催を継続できればと思います。

最後になりますが、ご講演いただいた茨木市企画財政部政策企画課参事の梶様、茨木市市民文化部共創推進課課長代理の山脇様、現場見学時にご案内いただいた茨木市のご担当者の皆様、ご参加いただいた方々、ご支援いただいた(一財)建築保全センターの関係者の方々にお礼申し上げます。